

大阪 まち ボランティア

活動の記録



大阪 まちボランティア 活動の記録

Contents

- 01 **はじめに**
- 03 **インタビュー**
2025年 大阪・関西万博
ボランティア活動を振り返って
- 07 **活動状況**
活動概要／活動人数等・活動者の属性
- 09 ①大阪国際空港／②関西国際空港
- 11 ③新大阪駅／④大阪駅
- 13 ⑤中之島駅／⑥北浜駅・淀屋橋駅
- 15 ⑦なんば駅／⑧天王寺駅
- 17 ⑨大阪ヘルスケアパビリオン
- 19 **その他の活動**
◇JR西日本主催「関西もっと知りたいDAY！」
での万博・大阪まちボランティア活動PR/
天保山客船ターミナルでの万博PR／大阪取
引所イベントでの万博PR／大阪まちボラン
ティア高校生等体験プログラム
- 21 **ボランティアの交流**
◇交流スペースの設置／交流プログラムの開催
メッセージウォール／ボランティア活動交換
ノート／ボランティア情報等発信ミニイベント
- 23 **活動の歩み**
◇これまでの活動の歩み
◇活動準備(ボランティア募集開始／ボランテ
ィアセンターの設置／記者発表会／ボランテ
ィア募集説明会)
◇活動準備(ユニフォーム発表会／ボランティア
登録人数の拡充／面談／研修／団結式)
◇活動準備(提供物／案内ツール)
◇閉幕(閉幕に向けた取り組み／感謝状贈呈式)
- 29 **ボランティア活動に関するアンケート**
- 32 **大阪まちボランティアに寄せて**
(大阪公立大学・大塚耕司教授)
- 33 **大阪まちボランティアからの
ひとことメッセージ**

はじめに

大阪まちボランティアの 実施にあたって

大阪府・大阪市は、多様な方々に万博に参加していただき、多くの仲間たちと一丸となって万博を創り上げていく等、他では得られない貴重な体験をしていただく機会として、「万博の顔」となり国内外から万博を訪れる方々を駅・空港等で迎え入れる「大阪・関西万博ボランティア〈大阪まちボランティア〉」を募集しました。

万博のテーマである「いのち輝く未来社会」をデザインすること、すなわちSDGsの達成に向けては、一人ひとりができることを行動に移すことが必要です。そのためには、自発的な活動であるボランティアという存在はとても重要です。万博でのボランティア活動は、将来にわたるさまざまなボランティア活動の契機となり、ひいてはSDGsの達成に寄与することが期待されます。

本誌は、大阪・関西万博における、〈大阪まちボランティア〉の活動の記録をまとめたものです。

万博ボランティア実施にあたっての 3つのポイント

1 **さまざまな方が、自身のライフスタイル等に合わせた
気軽に参加できる**

大規模イベントのボランティアは一般的に活動日時を指定されることが多いのに対し、万博ボランティアはご本人が自由に活動シフトを選べ、半日程度でも活動できる仕組みとしました。

さらに、友人や家族などグループでの活動や、語学等の特別なスキルがなくても参加しやすい仕組みにすることで、幅広い方々の参加を可能にしました。

2 **万博理念の継承と、
SDGs達成に向けた取組み**

万博理念の継承や万博閉幕後のSDGs達成に向けては、万博ボランティアを契機としたボランティア活動の継続が重要です。そのためにはボランティア同士の交流やネットワークづくりが大きな役割を果たすことから、多くのボランティアが自由に交流できる交流スペースを設けました。

また、活動に対するボランティアの提案を運営のさまざまな場面に活かすことで、創意工夫や自発的な活動を促しました。

3 **博覧会協会(会場ボランティア)との
綿密な連携**

ボランティアの利便性の向上や効率的・効果的な運営を図るため、「募集」「面談」「研修」などあらゆる段階で、〈会場ボランティア〉を運営する「2025年日本国際博覧会協会」と相互に連携を図りました。



2025年 大阪・関西万博 ボランティア活動を振り返って

大阪まちボランティアとして活動いただいた方々の中から、6名の皆さんに、応募をした動機や実際に活動した感想などを聞きました。

最初は不安がありました、
楽しむ力を身につけて前向きな自分に成長！



「ようこそ大阪へ！」の気持ちが伝わるように、明るい笑顔で対応。



7月12日(土)にJR大阪駅で行われたJR西日本主催「関西もっと知りたいDAY！」万博PRイベントに登壇した高岡さん。(左から3人目)

高岡 美穂さん

勤務する会社では雑貨などの販売を担当。大阪まちボランティアとして、全9拠点で16回活動。

●迷った末に、一步踏み出す

私がこの万博ボランティアに応募したのは、母から1970年の大阪万博の話聞いたことがきっかけです。「万博に行って、家族の大切な思い出になった」とよく話してくれて。それで私も、時代を超えて語り継がれる万博に関わりたい、多様な文化に触れて世界とつながりたいと思うようになり、人生初のボランティアに挑戦しました。でもいざ応募するときは、自分に務まるだろうかと不安になって。応募締切の10分前まで迷いました

が、最後は「この機会を逃したらダメ。後悔したくない！」との思い

が勝ち、踏み出すことができました。

初めは肩に力が入っていましたが、緊張をやわらげ、意識を変えてくれたのが、事前研修や交流プログラムなどで出会った仲間たちです。「楽しめばいいんだよ」の言葉通り、さまざまな形で情報交換したり、関連イベントに誘い合う楽しそうな姿が新鮮で、刺激を受けました。「私も自分なりに楽しもう」と思うようになり、活動への前向きな気持ちが大きくふくらみました。

●ボランティア活動が自分の成長に

駅などで案内やPR活動をしていると、「ありがとう」「行ってみるね!」と感謝されることも多く、そのたびにやりがいを感じました。でも良かったのはそれだけではありません。自

分の仕事(販売職)にも役立つ臨機応変な対応力や積極性が鍛えられるなど、自分自身の成長につながったと思うのです。例えば、万博の魅力を伝えるイベントに出演したり、ボランティアリーダーに応募したことです。思いきって一歩前に踏み出したときの新たな扉が開く喜びや、前向きな自分の姿を示すことで周囲に楽しさが波及する手応えを感じたり。そんな貴重な経験が行動力を高め、自分の世界を広げる力になりました。

また、大阪ヘルスケアパビリオンでの活動によって、「未来をつくり、子どもに未来を見せるのは自分だ」という意識が生まれたことも大きな収穫です。この活動で得た視点や力を糧に、今後は子どもを支える活動にも目を向け、関わっていきたくと考えています。



堤 朋子さん 大阪公立大学4年生。大学のボランティアセンターでも学生スタッフとして活動。

幅広い世代の人たちと関わり、
視野が大きく広がりました。



相手に合わせて声掛けなどを工夫し、対応の質を高めた。

●万博に深く関わる期待と喜び

私は高校生の頃から、大学ではボランティアに力を入れたいと思っていました。中でも興味があったのが、大阪・関西万博です。祖父母から1970年の大阪万博がとても楽しかったと聞いていて、自分の大学生時に開催されることを絶好の機会だと思ったのです。私の実家は東京ですが、現在私が通う大阪公立大学には万博に深く関われるボランティア・市民活動センターがあることも決め

手となり、大阪に引っ越してきました。

大学に入って多くのボランティアに参加しましたが、大阪・関西万博はスケールが違いますね。関わる方も幅広いので、一気に視野が広がりました。活動シフトをコマで選べたから、学生生活にも組み込みやすかったです。

●会話を通じ、コミュニケーションアップ

開幕前のボランティア交流イベントでファンリテーターを務めさせていただいたときは、自分より年上の参加者が多く、緊張しま

した。だけど学生社会とは違う丁寧な対応や、初参加で不安を感じている方への寄り添いなどを経験して、ボランティアとしてのステップアップにつながったと思います。

また、案内などの活動の際も、以前の私は質問にただ答えるだけでしたが、相手の関心事から話題を広げて喜ばれる楽しさを知り、コミュニケーション力が高まった気がします。スケールの大きなボランティア活動だから学べた多くの経験を、今後さまざまなボランティアにも活かしていきたいです。

笑顔と親切心を分かち合えた 素晴らしい体験でした。



ボランティアセンター(大阪市・堺筋本町)の「メッセージウォール」の前で。



高橋 正和さん

普段は動画でバリアフリー情報などを発信する活動に従事。

●優しさは伝播することを実感

より多くの方に目いっぱい万博を楽しんでほしい——。そんな想いから、いつも笑顔で明るい雰囲気づくりを心掛けていました。運営スタッフの方も、我々ボランティアのやる気が高まるように、いつも場を盛り上げてくださいました。そうして一人ひとりの楽しい気分が広がっていくと、みんなが優しい気持ちになり、自然に助け合う空気が生まれるんですね。実際、車椅子に乗っている私に対して、

同じボランティアやスタッフの方があれこれと親切にサポートしてくださいました。皆さんからたくさんの優しさをもらったおかげで、自分も優しい気持ちになりましたし、それが周囲にも伝わったような気がします。

●すべての人が移動しやすい環境へ

私はもともと、車椅子ユーザーの視点で各地の観光情報などを発信する仕事に携わっていました。万博ボランティアに応募したのも、大勢の人が集まる万博会場のバリアフ

リー環境から何か気付きを得たいと思ったのです。私が活動する駅構内のバリアフリーのルートを、事前に運営スタッフの方が丁寧に教えてくださったり、移動時間なども十分確保してもらったので、活動も安心してできました。とても感謝しています。

今回のボランティア活動の経験や発見を活かし、今後も動画配信のために全国を巡るつもりです。人生は一度きり。誰もがどこにでも出かけられる環境づくりに少しでも寄与できるように、チャレンジし続けたいですね。



ボランティアは 自分の心の支えとなる 貴重な経験です。



笑顔で万博のPRを行う姚さん。



7月6日(日)にJR大阪駅で行われたJR西日本主催「関西もっと知りたいDAY!」万博PRイベントのステージに立つ姚さん。(左から2人目)

ヨウ センコウ
姚 宣宏さん

台湾出身。2025年7月にJR大阪駅で行った万博PRイベントにも大阪まちボランティアを代表して出演。



●大好きな大阪に恩返ししたくて

大阪は、私が15年前に台湾から来日したとき、最初に住んだまちです。当時会社勤めをしていて、休日に出かけた吹田の万博記念公園で1970年の大阪万博のことを知り、とても興味を感じて。だから2025年の万博の開催地が大阪に決まったときは大喜びして、これは絶対ボランティアに応募しようと思ったんです。そこには「大好きな大阪に恩返しをしたい」という気持ちもありました。というのは、異国に来て不安ばかりだった頃、大阪の方々が本当に親切にしてくださって、第二のふるさとのように感じていたからです。

ボランティア活動では、私なりにお役に立てたかなと思う場面もありました。大阪駅で案内していたとき、お孫さんにミャクミャクの折り紙を贈りたいというおばあちゃんが来られたんです。ミャクミャクのぬいぐるみを買

にきたのに売り切れていて、それでミャクミャク折り紙の折り方を聞きたいと。ボランティア数人が集まり目の位置とか細部まで確認しながら、折り紙のお手伝いをしました。出来上がるとすごく感激してくださって、私もうれしかったです。



ボランティアさんお手製のミャクミャク折り紙。

●ボランティア活動の価値を再認識

今回の活動は、運営スタッフの方々からの情報共有も万全でしたし、困ったときにはすぐにフォローしていただいたり、とてもやりやすかったです。ボランティアのための交流

プログラムも豊富にあって、私も何度も参加しました。高齢の方から高校生まで、普段は関わりがない年代の方たちと案内の仕方を話し合ったり、地元大阪の話題で盛り上がったたり、いろんな話ができて楽しかったですね。

私はこれまで、大阪マラソンや東京オリンピック・パラリンピックのボランティアにも参加してきました。そんな中で思うのは、ボランティア活動というのはお金を稼ぐ仕事とは違って、自発的に人や社会の役に立つ行動をすることで、自分への自信にもつながります。特に自国以外で生活していると、ときに自分のアイデンティティを自問することもあって、そんなとき多くの人と一体となって活動したこの経験は、自分で自分を認められる“心の拠りどころ”にもなるのです。大好きな大阪で、またひとつ貴重な経験ができました。

人生2度目の大阪での万博、 世代を超えたご縁にも感謝。



三浦さんの周囲は、いつも和やかな雰囲気。



三浦 恵美さん

70年大阪万博を体験後、旅行業界で約30年のキャリアを積む。

●孫世代の方の成長をあと押し

私にとって初のボランティア活動で不安もありましたが、旅行関係の仕事をしていたとき社員教育を担当したこともあって、「ボランティアリーダーとして、75歳の自分から若い方に何か伝えられたら」との気持ちも持っていました。押しつけがましいかな…と迷いながらもお客様に声掛けできず悩んでいた学生さんに接客のアドバイスをすると、次第に声を出せるようになって。「リーダーの

おかげです! 次回の活動も同じ日に予約を入れたい」とまで言ってくれて、本当にうれしかったです。他愛のないおしゃべりをしたり、連絡先を交換して食事に行く約束をするなど、世代を超えたお友達ができました。

●これまでのご恩を、若い方へ

1970年の大阪万博に行ったとき、私は20歳でした。そこで初めて外国の文化に触れ、その後30年近く旅行業界の仕事をしてきました。そうした経験を今回の万博で活かす

ことができ、とても感慨深いです。

なんば駅で20回も活動できたのは、運営スタッフの方々のおかげですね。スタッフの方とボランティアがあだ名で呼び合うなど、フレンドリーな雰囲気がいっぱい。毎回「今日も楽しく頑張ろう!」と声を出し合い、楽しく活動できました。改めて、私の人生は人の縁に恵まれてきたのだと実感。いろいろな人の助けがあったから、今の自分があります。今後は、これまで受けてきたご恩を、これからの世代の方へ返していきたいと思っています。

大阪のまち案内も手話も—— 自分の強みを活かして活動。



水谷 哲也さん

国際手話を学び、人の役に立ちたいと初めてのボランティアにチャレンジ。



ボランティアセンターに貼り出された「交流プログラム」の写真を見てまわる水谷さん。

●新大阪駅でまち案内に奮闘

2025年の万博が大阪に決まってワクワクしていた頃、私は聴覚に障がいがあることから、デフリンピック*に向けた国際手話を学ぶ場に参加していました。その参加者同士で、万博ボランティアに応募してみようという話になって。私は地元が大阪なので、自分なら遠方から訪れる方に大阪のまち案内ができる“強み”があると思ったのです。実際にお客様から「たこ焼きを食べたいけど、どこに行った

らしい?」といった質問もあって、活動拠点の新大阪駅に近いお店を紹介しました。ボランティア同士助け合いながら、得意分野を活かし、人の役に立つことができた有意義な経験でした。

●活動の合間に手話の話で交流も

応募の段階では、筆談なども交えながら活動しようと思っていましたが、実際はすべての活動に手話通訳者さんが付いてくださいました。地図やリーフレットなど資料も充実し

ており、とてもありがたかったです。

ボランティア同士の交流を深めるプログラムにも、手話通訳者さんと一緒に参加しました。幅広い世代の方が集まって学ぶことも楽しかったですし、この中でスタッフの方が簡単な手話講座をしてくださったことも。また、通常の活動の合間にもボランティア仲間から「ありがとうってどうやるの?」と聞かれ、手話を教えて盛り上がったこともあります。皆さんが手話に興味を持ってくれたこともうれしかったですね。

*デフリンピック…聴覚障がい者のオリンピック

大阪まちボランティア

活動状況

大阪まちボランティアは、国内外から多くのお客様を迎える大阪府内の主要駅6か所、空港2か所、万博会場内・大阪ヘルスケアパビリオンの合計9か所で、万博のPRや案内活動を行いました。



活動状況

- 活動期間
2025年4月13日(日)～10月13日(月・祝)
※天王寺駅は2025年5月1日(木)～10月13日(月・祝)
- 募集人数
10,000人
- 応募人数
21,444人
- 登録人数
16,000人
- 活動単位
個人またはグループ(4名まで)
- 活動時間
1日あたり約4時間30分
(活動前後のオリエンテーション時間含む)
- 活動日数
原則5日間
- 登録要件
2025年4月1日時点で満18歳以上の方/日本語による会話(意思疎通)が可能な方/面談、研修への参加が可能な方(特別な資格やスキルは必要なし)

- 活動グッズ・賞与品
◇ユニフォーム一式
(Tシャツ、ベスト、ハット、ポシェット)
◇ボランティア活動保険への加入
(研修及び活動期間中を補償)
- 活動費
活動日の交通費・食費相当として
2,000円分のQUOカードPay
- 配慮が必要な方への対応例
手話通訳者の派遣、介助者同行への対応、車いす利用者への移動支援、配慮が必要な内容に応じた活動ポイント調整(日光アレルギー他)、バリアフリー動線を考慮した活動場所の選定等
- 熱中症対策
冷感タオル・塩タブレット・イオン飲料粉末の配布、ウォーターサーバーの設置、活動ポイント毎の暑さ指数(WBGT)の定時での測定、休憩時間の増加、活動ポイントの変更・調整等



活動概要

●活動の内容

国内外から万博会場や大阪、関西を訪れた方々に対し、「万博の顔」として主要駅・空港等での歓迎や万博情報などの案内、大阪ヘルスケアパビリオンでの来館者サポート等の活動を実施。

- ◇万博情報の案内
- ◇交通アクセス情報の案内
- ◇観光情報の案内
- ◇ヘルスケアパビリオンでの来館者サポート等

●活動場所

- ①大阪国際空港
- ②関西国際空港
- ③新大阪駅
- ④大阪駅
- ⑤中之島駅
- ⑥北浜駅・淀屋橋駅
- ⑦なんば駅
- ⑧天王寺駅
- ⑨大阪ヘルスケアパビリオン



活動人数等・活動者の属性

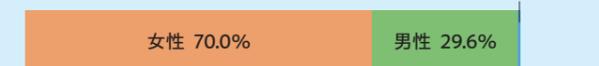
- 活動人数
10,955人
- 延べ活動人数
76,586人
- 駅・空港での案内件数
352,547件



●年齢



●性別



●居住地





AREA 1 大阪国際空港

多くの来訪者で賑わう大阪国際空港では、2Fの到着フロアで案内やPR活動を実施。ミャクミャクグッズを使った記念撮影やアクセスの案内などおもてなしをしました。



AREA 2 関西国際空港

万博会場内の大屋根リングを模した木製の常設ブースが目印に、「WELCOME TO OSAKA」のサインは海外からのお客様に好評でした。ミャクミャクも時々登場し、盛り上げてくれました。



- 延べ活動人数/4,153人
- 案内件数/20,441件
- 活動場所/
◇案内ブース(カウンター)…2F 出発・到着フロア 出入口前
◇サブポイント…2F 出発・到着フロア 到着口前
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/7ポスト(うちリーダー1ポスト)
※4/29より土日祝日のみ9ポスト、6/7より全日程9ポストに増枠(うちリーダー1ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ21ポスト(うちリーダー3ポスト)
※増枠後延べ27ポスト(うちリーダー3ポスト)

- 延べ活動人数/8,813人 ●案内件数/29,498件
- 活動場所/
◇案内ブース①…1F 関西ツーリストインフォメーションセンター前
◇案内ブース②…1F 国内線到着口前
◇サブポイント…1F 国際線南到着口付近、1F 国際線北到着口付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/15ポスト(うちリーダー3ポスト)
※4/28より19ポスト、6/21より23ポスト、7/3より27ポストに増枠(うちリーダー3ポスト)

- 1日の活動ポスト/延べ45ポスト(うちリーダー9ポスト)
※増枠後延べ81ポスト(うちリーダー9ポスト)
- ＜イベント実施状況＞
- ◎ミャクミャクの登場
▶6/30(月)~7/3(木)、7/7(月)~7/11(金)、7/28(月)~8/1(金)、9/25(木)
ミャクミャクとの写真撮影を希望する来訪者への、写真サポートや誘導を行いました。
- ◎関西国際空港 航空会社合同万博PRイベント
▶7/14(月)
関西エアポートや各航空会社スタッフの方とうちわなどを配布し、万博をPRしました。

活動状況 ①



国内外から訪れたお客様に
“万博の顔” としてお出迎え。



人気者のミャクミャクが登場すると、あっという間に周囲は人だかりに。



常設ブースの隣、「大阪・関西万博に向けた関西国際空港における観光PRブース」にて、万博会場とリアルタイムで映像・音声・振動がつながる「ふれあう伝話」体験のご案内も。

ウェルカム・トゥ・オーサカ!
歓迎の気持ちを笑顔とともに。



万博会場へのシャトルバスなどの案内や、ミャクミャクパネルを背景にした記念撮影をお手伝い。



海外からのお客様にもしっかりと対応。



激励に訪れた横山大阪市長も、ミャクミャク缶バッジづくりを体験。



新大阪駅

新大阪駅は新幹線の中央コンコースとJR在来線にそれぞれブースを置いて活動しました。観光客はもちろんビジネス客も多いこの駅で、幅広い方々に万博の魅力をPRしました。



- 延べ活動人数/11,386人 ●案内件数/105,904件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース①…3F JR 新幹線 中央口改札前
 - ◇案内ブース②…3F JR 在来線 コンコース内
 - ◇サブポイント…
 - 3F JR 新幹線 南口改札前、
 - 3F JR 在来線 東改札口前、2F Osaka Metro 中改札付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/22ポスト(うちリーダー4ポスト)
※4/28より28ポストに増枠(うちリーダー4ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ66ポスト(うちリーダー12ポスト)
※増枠後延べ84ポスト(うちリーダー12ポスト)
- 控所/中央口新幹線自動きつぷうりば横
- ＜イベント実施状況＞
- ◎JR東海 新大阪駅との合同イベント
▶7/8(火)、7/9(水)、8/7(木)、8/29(金)、9/24(水)
JR東海の職員の方々と協力し、ドクターイエローの顔出しパネル(フォトスポットコーナー)設置やノベルティを配布しました。

大阪駅

大阪駅では1F中央コンコースと3Fの連絡橋内にそれぞれ案内ブースを設置。サブポイントも要所に設定するなど、全活動拠点中で最大規模の活動を行いました。



- 延べ活動人数/15,313人
- 案内件数/83,135件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース①…1F 中央改札口前
 - ◇案内ブース②…3F 連絡橋口前
 - ◇サブポイント…
 - 1F 御堂筋北口/南口付近、
 - 1F 暁(あかつき)の広場、
 - 3F 大阪ステーションシティ インフォメーション付近

- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/32ポスト(うちリーダー4ポスト)
※4/28より40ポストに増枠(うちリーダー4ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ96ポスト(うちリーダー12ポスト)
※増枠後延べ120ポスト(うちリーダー12ポスト)
- 控所/ディアモール大阪B2F ディアモール会議室

多くの人が行き交う新大阪駅で
万博と大阪の魅力を発信!



7月26日には吉村大阪府知事も激励に訪れました。



3Fのミyakymyak大階段前は、人気の撮影スポットでした。



常に多くの人で賑わう大阪駅中央コンコースの案内ブース。

関西最大のターミナル駅で
万博を盛り上げます。



桜島駅行き「エキスポライナー」が発車するJR在来線の改札内にも案内ブースを設置。

海外のお客様も多い新幹線中央コンコースの案内ブース。



10月13日の閉幕日には、ホームでエキスポライナーをお見送り。



3Fの案内ブース前は、電車が到着するたび大勢の人が。



人の往来が多い御堂筋口には、北口と南口にサブポイントを設置。



AREA 5

中之島駅

ボランティアが考えたオリジナル万博クイズや、手づくりミャクミャク折り紙が大人気。案内ブースには、クイズを楽しむお客様と盛り上げるボランティアたちの姿が見られました。



AREA 6

北浜駅・淀屋橋駅

北浜駅の地下通路に案内ブースを置き、サブポイントは淀屋橋駅まで移動して活動。京都方面へ出かける国内外のお客様も多く、万博以外の観光案内にも力を入れました。



- 延べ活動人数/3,252人
- 案内件数/17,033件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース…B1F 改札口横
 - ◇サブポイント…B1F 3番出口付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00, 12:00~15:00, 15:00~18:00
 - ※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/7ポスト(うちリーダー1ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ21ポスト(うちリーダー3ポスト)
- 控所/B1Fコンコース内会議室(4・5番出口付近)

〈イベント実施状況〉

◎京阪電車オリジナル万博スタンプの設置
 ▶10/4(土)~10/13(月)
 オリジナル万博スタンプを期間限定で設置。

- 延べ活動人数/5,074人
- 案内件数/25,762件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース…B1F 京阪北浜駅 26番出口付近
 - ◇サブポイント…B1F 京阪淀屋橋駅 西改札口付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/
 - 9:00~12:00, 12:00~15:00, 15:00~18:00
 - ※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/10ポスト(うちリーダー2ポスト)
 - ※6/21より12ポストに増枠(うちリーダー2ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ30ポスト(うちリーダー6ポスト)
 - ※増枠後延べ36ポスト(うちリーダー6ポスト)
- 控所/B1F コンコース内

活動状況 ③



万博クイズや缶バッジなど
手づくりアイテムで大奮闘!

ミャクミャク折り紙や手描きのPOPなどは、ボランティアたちによる手づくりです。



オリジナル万博クイズは、外国の方向けに英語の問題も用意。子どもから大人まで多くの方々に楽しんでいただきました。



大阪取引所などがある金融の街・北浜で、万博の楽しさを発信しました。



駅周辺案内図で、目的地への行き方を説明。



サブポイントは多くのビジネスパーソンが忙しく行き交う淀屋橋です。



万博のPRはもちろん
関西の観光案内もおまかせ!



AREA 7

なんば駅

関西国際空港から乗り継いでくる外国人客も多い南海なんば駅。現場を盛り上げる運営スタッフの影響か、なんば駅の活動はみんな元気いっぱい。楽しむように案内&PRしていました。



- 延べ活動人数/8,782人
- 案内件数/50,284件
- 活動場所/
◇案内ブース…3F チケットカウンター付近
◇サブポイント…3F 北改札口付近、2F 中央改札口付近、1F 南海なんば高速バスターミナル行きエレベーター付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/15ポスト(うちリーダー3ポスト)
※4/28より20ポスト、6/21より22ポスト、6/27より24ポストに増枠(うちリーダー4ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ45ポスト(うちリーダー9ポスト)
※増枠後延べ72ポスト(うちリーダー12ポスト)
- 控所/OCAT



AREA 8

天王寺駅

Osaka Metroの西改札付近からJRの中央口まで、2つの駅を結んで活動した天王寺駅。さまざまな商業施設などが入り組むこのエリアで、万博のPRや周辺案内を行いました。



- 延べ活動人数/6,729人
- 案内件数/20,490件
- 活動場所/
◇案内ブース…B1F Osaka Metro 定期券発売所前
◇サブポイント…
B1F Osaka Metro 御堂筋線西改札口付近、1F JR 中央口改札付近
- 活動期間/2025年5月1日(木)~10月13日(月・祝)

- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/14ポスト(うちリーダー2ポスト)
※6/27より18ポストに増枠(うちリーダー2ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ42ポスト(うちリーダー6ポスト)
※増枠後延べ54ポスト(うちリーダー6ポスト)
- 控所/あへのメディックス

ボランティアも元気いっぱい!



案内ブースは、チケットカウンターのある3F北改札口に設置。



なんば駅の運営スタッフは、楽しい雰囲気づくりがピカイチと評判。



なんばパークス直結の2F中央改札口でも活動を行いました。



関空からの電車がひっきりなしに到着する3F北改札のスカイオ側付近。



乗り換えの多いターミナル駅では
周辺案内も大事な活動です。



JR中央コンコースはいつも人でいっぱい。通行の邪魔にならないよう注意して活動します。



案内ブースはOsaka Metroの定期券売り場前に設置。近鉄方面へ向かう方たちにも笑顔でPR。



活動状況 ④

大阪ヘルスケアパビリオン

万博会場内の大阪ヘルスケアパビリオンでは、来館者の誘導やサポートを中心に活動。万博会場の雰囲気を直接感じる場所での、貴重なボランティア体験となりました。

- 延べ活動人数/12,966人
- 活動場所/エントランスエリア、リボンゲートエリア、カラダ測定ポッド、ミライのじぶん、ミライのヘルスケア1・2、アトリウムエリア
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00、18:00~21:00
※4シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/20ポスト(リーダーポスト無し)
※5/25より1~3シフト目22ポスト、4シフト目25ポスト、6/20より全シフト25ポストに増枠
- 1日の活動ポスト/延べ80ポスト
※増枠後延べ100ポスト
- 控所/バックヤード棟 ボランティア控室



2Fの吹き抜けスロープからはパビリオン全景を見渡せます。



下り勾配の2Fスロープでは、走ったり逆走しないよう到来館者を誘導。



予約不要の1Fアトリウムは常に混雑しがち。スムーズに回遊できるように誘導します。



25年後の自分と出会う「ミライのじぶん」は大人気。ここでも来館者をスムーズに案内、誘導します。



同じく長い下りスロープが続く「ヒカリの坂道」でも、逆走などがないように案内します。



2F予約ゾーンの体験を終えて1Fに降りてきた来館者の、アトリウムへのスムーズな合流を促します。

**いのち輝く未来社会に触れる
大阪ヘルスケアパビリオンに
ようこそ!**

1F入口付近では、「リボン体験」を行うためのディスプレイへの案内や、リストバンドの装着などをお手伝い。



その他の活動

その他の活動 1

JR西日本主催 「関西もっと知りたいDAY!」 での万博・大阪まちボランティア 活動PR

活動の理解を深めてもらうために
トークショーに出演

JR西日本主催の地域との交流イベント。メイン会場の「JR大阪駅 時空(とき)の広場」では、ミャクミャクも登場するボランティアトークショーに出演。出展ブースでは来場者へ手作りの缶バッジをプレゼントするなど、万博と大阪まちボランティアのPR活動を行いました。



- 活動日/2025年7月5日(土)~6日(日)、7月12日(土)~13日(日)
- 活動場所/JR大阪駅 大阪ステーションシティ 5F「時空の広場」
- 活動内容/ステージでのボランティアトークショー、会場内ブースにおける活動PR、缶バッジ配布等
- 延べ活動人数/72人

その他の活動 2

天保山客船ターミナル での万博PR

クルーズ客船で来阪された海外の方に
万博の魅力を発信

大阪港に入港する客船のターミナルに、大阪まちボランティアブースを設置。クルーズ客船の外国籍乗降客を中心に万博のPR活動を行いました。



- 活動日/2025年8月20日(水)、21日(木)、27日(水)、9月1日(月)、2日(火)
- 活動場所/天保山 客船ターミナル1階 エントランスホール
- 活動内容/ブースにおける万博PR活動、缶バッジ・うちわ配付、記念撮影、万博会場へのアクセス案内など
- 延べ活動人数/39人

その他の活動 3

大阪取引所 イベントでの万博PR

活動拠点の北浜駅から
案内ブースを出張設置

日本取引所グループで働く東京と大阪の職員同士の交流会「JPX東西交流会」にて、万博のPRイベントが開催され、大阪まちボランティアのブースも設置。当日はミャクミャクなどのキャラクターの出演や万博のPR動画が会場で放映され、来場者を楽しませてくれました。



- 活動日/2025年8月22日(金)
- 活動場所/大阪証券取引所ビル1階アトリウム
- 活動内容/会場内ブースにおける活動PR、ブースで万博関係のチラシ配布、万博に関する質問の個別対応、一般客の万博PRイベントへの誘導など
- 活動人数/7人

その他の活動 4

大阪まちボランティア 高校生等体験プログラム

大人ボランティアと一緒に
フレッシュな笑顔でお出迎え!

国際交流や多様性への理解を深めながら、高校生らが世代や国を超えた人々とともにボランティア活動を体験する取り組みを実施。新大阪駅では吉村大阪府知事も激励に訪れました。パネルを持ちながら、和やかなムードでゲストを迎えました。



- 活動日/2025年7月25日(金)~28日(月)、8月1日(金)~3日(日)、5日(火)~9日(土)、18日(月)~20日(水)
- 活動場所/新大阪駅、関西国際空港、大阪駅
- 活動内容/ボランティアブースにおいて、国内外から大阪・関西に来られた方へのサポート(万博情報の案内、写真撮影、来阪記念うちわの提供など)
- 活動人数/279人

ボランティアの交流

万博の会期前からボランティアセンターを設置してさまざまな取り組みを行い、ボランティア間の交流を促進しました。

交流 1

交流スペースの設置

ボランティア同士の交流の場を開設

ボランティアの活動に役立つ冊子やパンフレットの設置、ボランティア同士の意見交換など自主的な交流を図っていただくために、交流スペースを設置しました。

●開設期間/2024年11月14日(木)~2025年10月11日(土)



交流 2

交流プログラムの開催

数多くの交流プログラムを開催

ボランティア活動に役立つ知識やスキルの習得、ボランティア間の交流を目的に、講師を招いたセミナーやワークショップなど多彩なプログラムを開催。また、ボランティア自身が提案したオリジナルテーマによる交流会や、各拠点での情報を共有し活動につながるリーダー対象の交流会など自発的な活動を促すプログラムを開催しました。

●開催回数/128回 ●総参加人数/3,076人



〈主な交流プログラム〉会場:ボランティアセンター

①万博

- 万博の誕生から今、そして未来社会
- U29の万博のオススメの楽しみ方

②国際交流・多文化共生

- 世界のあいさつや文化を知ろう!伝えよう!交流しよう!
- 国際交流×折り紙に興味ある人、集まろう
- ホセッチから学ぼう!体感・異文化コミュニケーション!

③観光・おもてなし

- OSAKA・KANSAIの魅力と一緒に探ろう
- 知っておきたい!紹介したくなる今ドキOSAKA!
- 手作りギフトおもてなしギフト講座
- エリア別ボランティア活動交流会

④ボランティア自主企画

- オリジナルテーマで交流しよう!ボランティア交流会!
- ・国際交流へ一歩を気軽に踏み出そう~やさしい日本語やアプリを使った案内~
- ・大阪まちボランティア活動の【イロハ】を知ろう!
- ~これから始める活動を楽しむヒント~

⑤リーダー

- ”テーマ”から考えるリーダー活動
- ボランティアメンバーがモチベーションUPするリーダー活動を考えよう
- メンバーから喜ばれる・慕われるリーダーの役割とは?

⑥その他

- U29大集合!ボランティア交流会
- まちボラの楽しみ方を情報交換しよう!!

交流 3

メッセージウォール

ボランティアが活動での楽しい出来事や活動への想いを寄せ書き

誰でも思い思いのメッセージを書き残せる「メッセージウォール」を設置。それぞれの「楽しい出来事や活動への想い」などたくさんの方のメッセージが寄せられました。

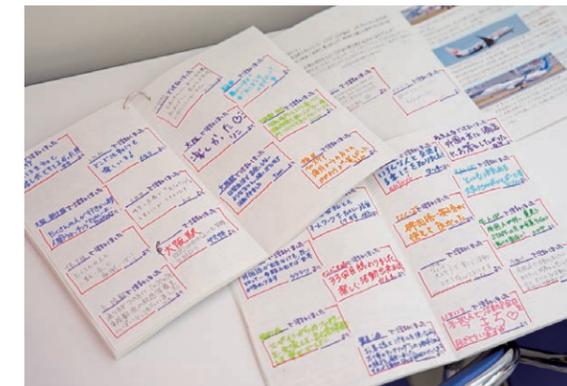


交流 4

ボランティア活動交換ノート

各拠点間で情報や想いを交換できるノートを設置

拠点ごとのノートを設置し、各拠点での活動に役立つ情報や活動後の感想など、さまざまな情報交換が行われました。



交流 5

ボランティア情報等 発信ミニイベント

今後のボランティア活動に活かせる 情報発信イベントを実施

2025年9月19日(金)、24日(水)、10月4日(土)の3日間にて開催し、16の団体が情報発信や相談のためのブースを設置しました。

●参加人数/427人 ●参加団体/大阪ボランティア協会、大阪マラソン組織委員会事務局、大阪国際交流センターなど16団体



活動の歩み

2025年4月13日(日)の開幕に向けて、さまざまな準備や取り組みを行ってきました。ボランティアの募集、面談、研修からはじまり、閉幕までの歩みを振り返ります。



これまでの活動の歩み

2024年1月26日(金)	ボランティア募集を開始 「大阪・関西万博ボランティアセンター」がオープン 記者発表会	2025年3月30日(日)	団結式
2月11日(日)～	商業施設等のボランティア募集説明会の開始	4月5日(土)・6日(日)	万博会場内のテストランに参加
4月22日(月)	ユニフォーム発表会	4月13日(日)	大阪・関西万博が開幕 各拠点でのボランティア活動を開始 ※天王寺は5月1日(木)～
4月30日(火)	応募締め切り	9月～10月	ボランティアセンターでの 情報等発信イベントの開催
6月～9月	面談期間	10月13日(月・祝)	大阪・関西万博が閉幕
10月～	研修の開始	11月15日(土)	感謝状贈呈式
11月～	交流プログラムの開始		

活動準備

ボランティア募集開始

WEB、印刷物などさまざまな媒体で告知

ボランティアの募集にあたって2023年12月20日(水)に専用ホームページを開設し、2024年1月26日(金)から同年4月30日(火)まで募集を行いました。交通広告やサイネージ、自治体関連施設等でのリーフレット配架やポスターの掲示、WEBバナーや動画配信など、幅広い世代に情報が届くよう博覧会協会とともにPRを行いました。



募集サイト

告知リーフレット

ボランティアセンターの設置

ボランティア活動のサポート拠点

2024年1月26日(金)、ボランティアの募集開始にあたって、応募や活動の相談窓口、研修、面談、交流スペースとしても活用するボランティアセンターを開設しました。



- 所在地/大阪府大阪市中央区船場中央1丁目3番 船場センタービル2号館(地下1階)
- 開設期間/2024年1月26日(金)～2025年10月11日(土)※10月17日～12月10日はサポート窓口として開設 ●総利用人数/20,758人

記者発表会

メディアを通じてボランティアの募集をPR

ボランティア募集開始当日の2024年1月26日(金)、ボランティア応募登録の機運を高めるために、記者発表会をボランティアセンターにて実施しました。ミャクミャクも登場し、吉村大阪府知事と石毛博覧会協会事務総長がボランティアセンターの看板除幕セレモニーを行い、大学生2名と留学生1名が大阪・関西万博とボランティア活動に期待するメッセージを述べました。



ボランティア募集説明会

幅広い世代からの応募を促すためにさまざまな施設で実施

商業施設や大学施設、ボランティアセンターなどで説明会を博覧会協会とともに計170回実施し、大型商業施設ではトークショーやミャクミャク出演などのイベントを交えながら説明会を開催。また、大学やボランティア団体などへの出張説明会も行うなど、ボランティア活動の魅力を幅広い世代に向けてPRしました。



活動準備

ユニフォーム発表会

スペシャルゲストも参加してお披露目

2024年4月22日(月)グランフロント大阪にて、「大阪まちボランティア」「会場ボランティア」のユニフォームの発表を博覧会協会とともに行いました。発表会には多くのメディアも参加。俳優の黒谷友香さんとNMB48の3名(佐月愛果さん、坂下真心さん、青原和花さん)らが着用し、お披露目を行いました。



ボランティア登録人数の拡充

応募者多数により登録人数を拡充

2024年4月30日(火)に募集を締め切り、応募が21,444人と募集人数を大幅に上回ったことから、できるだけ多くの方に活動に参加してもらえるよう登録人数を16,000人に拡充しました。

面談

当選された応募者と一人一人面談

ボランティアセンターにて、2024年6月28日(金)～同年9月30日(月)の間、応募者との対面による面談を博覧会協会とともに実施。オリエンテーションやグループアクティビティ、個別面談(応募内容の確認・ユニフォームサイズチェック・郵送応募者の写真撮影等)のほか、希望者へは個別相談(配慮が必要な事項の確認など)を実施しました。



研修

受講しやすいようにオンライン形式で実施

2024年10月から活動に向けた下記の研修を実施。ボランティアの利便性向上のため、会場ボランティアと共通する部分は統一したコンテンツとし、研修は参加者が自由な時間に受講できるようオンラインで実施。2025年4月5日・6日には万博を疑似体験し、開幕後の活動に活かせるよう、博覧会協会が実施したテストランにも参加しました。

- ①基本研修 …万博の概要や接遇・マナーなどボランティアに必要な基礎知識の学習
- ②配置別研修 …各活動場所において必要となる知識の学習
- ③リーダー研修 …リーダーシップを発揮するために必要な心構えなどの学習
- ④トリア研修 …万博の歴史や豆知識、大阪・関西を中心とした観光情報などの知識の学習



団結式

開幕に向けて一致団結

2025年3月30日(日)、大阪府咲洲庁舎50階迎賓会議室にて、「大阪・関西万博ボランティア団結式」を開催しました。当日は吉村大阪府知事、横山大阪市長、石毛博覧会協会事務総長が出席し、ボランティア代表者4名による抱負も述べました。最後はマイクミyakを交えて記念撮影を行い、開幕へ向けて結束を高めました。



活動準備

提供物

視認性や実用性を考慮したオリジナルユニフォームで活動

幅広い世代の方が参加されることなどを踏まえ、どなたでも着こなせるデザインに。背面には、声をかけていただきやすいよう、「VOLUNTEER」の文字を入れるなど、万博の顔として「おもてなし」いただきやすい工夫を凝らしました。真夏での活動も考慮し、暑さ対策の帽子とマイボトルなどを携帯できるようにポシェットを用意。

SDGsの目標の一つである「パートナーシップで目標を達成しよう」のカラーであり、人と人をつなぐボランティアにふさわしいネイビーをベースに、まちなかでも活動が目につきやすいよう視認性の高いイエローを用いたカラーリングとしました。



《活動グッズ》
Tシャツ、ベスト、帽子、ポシェット、公式マップ、ハンドブック、ボランティア証、ボランティア証ケース

案内ツール

主要駅や空港でさまざまなツールを使ってお出迎え

各活動拠点ではバックパネルや手持ちパネル、SNS風パネルなどを使って、ゲストを笑顔で歓迎。記念撮影のリクエストにも数多く対応しました。



バックパネル



SNS風パネル



のぼり



手持ちパネル



公式グッズ



ロールバナー



関西国際空港 常設ブース

閉幕

閉幕に向けた取り組み

カウントダウンや寄せ書きなど各拠点でさまざまな取り組みを実施

各活動拠点では、「スケッチブックカウントダウン」「アンケートボードの設置」など、閉幕に向けた来訪者との接点や話題の創出を目的とした取り組みを行いました。「バックパネル」にボランティアが活動を振り返ってのメッセージを記入。閉幕日は、駅・空港の8拠点をオンラインで繋ぎ合同終礼を実施し、ボランティア活動の感想や思い出、仲間への思いを共有しました。



スケッチブックカウントダウン



アンケートボード



バックパネルのメッセージ

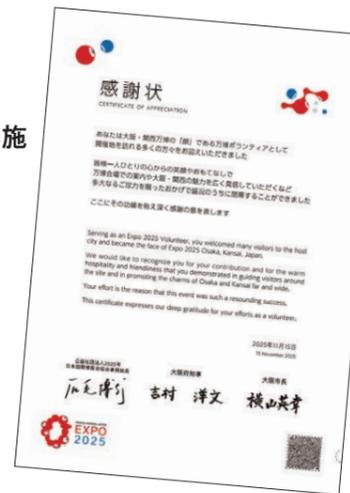


合同終礼

感謝状贈呈式

感謝の言葉を伝え今後の活動につながるようイベントを実施

2025年11月15日(土)、オーバルホール(大阪市北区)にて、感謝状贈呈式を開催。吉村大阪府知事、横山大阪市長、石毛博覧会協会事務総長が登場して、感謝の言葉を述べ、ボランティア代表者へ感謝状を手渡しました。ボランティア代表者からも感謝の言葉が述べられました。また、第二部では「ボランティア情報発信イベント」を開催。ボランティア団体など17団体が出演し、ボランティア等の情報発信を行いました。



ボランティア代表者が感謝状を受領。



第二部の「情報発信イベント」の様子。



式典の最後は吉村大阪府知事、横山大阪市長、石毛博覧会協会事務総長と参加したボランティア全員で記念撮影。

ボランティア活動に関するアンケート

大阪まちボランティアのみなさんに、ボランティア活動への参加理由や活動後の受け止め、活動への満足度等に関するアンケートを実施しました。

回答者数:3,511人

実施時期:2025年10月9日(木)~10月26日(日)

実施方法:ボランティア専用ページのアンケート機能により質問・回答

Q1 大阪まちボランティアに参加した理由を教えてください。

項目	選択肢								参加していない
	当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		当てはまらない		
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	
大阪・関西万博に関わりたかったから	92.0%	3,229	6.7%	236	0.7%	26	0.6%	20	
一生に一度の経験だと考えたから	85.9%	3,017	10.7%	374	2.5%	88	0.9%	32	
新しく出会う人々と交流したかったから	48.0%	1,685	35.6%	1,250	13.6%	479	2.8%	97	
日本、海外からのお客様をお迎えしたいから	59.5%	2,090	30.6%	1,076	8.0%	280	1.9%	65	
大阪・関西や地域の魅力を発信したかったから	43.0%	1,508	36.3%	1,276	17.1%	602	3.6%	125	
語学など培ったスキルを発揮したいから	27.3%	960	24.9%	875	27.4%	961	20.4%	715	
コミュニケーション力を高めたいから	34.1%	1,198	37.9%	1,329	21.3%	748	6.7%	236	

Q2 活動後の受け止めについてお伺いします。

項目	選択肢							
	当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		当てはまらない	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
大阪・関西万博に関われたと感ることができた	81.0%	2,844	16.3%	572	2.4%	85	0.3%	10
一生に一度の経験ができた	83.2%	2,920	12.8%	449	3.4%	118	0.7%	24
新しく出会う人々と交流することができた	62.4%	2,192	28.6%	1,003	7.2%	253	1.8%	63
日本、海外からのお客様をお迎えすることができた	54.9%	1,929	33.7%	1,184	9.0%	315	2.4%	83
大阪・関西や地域の魅力を発信することができた	34.3%	1,203	38.1%	1,339	23.0%	807	4.6%	162
語学など培ったスキルを発揮することができた	22.8%	801	31.4%	1,104	27.8%	977	17.9%	629
コミュニケーション力を高めることができた	38.6%	1,354	40.7%	1,429	16.7%	588	4.0%	140

Q3 大阪まちボランティア活動の満足度をお伺いします。

項目	選択肢								
	非常に満足している		やや満足している		あまり満足していない		満足していない		参加していない
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	
大阪まちボランティア活動全体について	57.9%	2,033	34.7%	1,217	6.3%	221	1.1%	40	
来訪者との交流について	43.1%	1,512	45.4%	1,593	10.2%	357	1.4%	49	
外国の方との交流について	29.8%	1,046	47.7%	1,673	18.9%	664	3.6%	128	
ボランティア同士の交流について	38.5%	1,353	47.4%	1,664	11.9%	418	2.2%	76	
大阪ヘルスケアパビリオンでの活動について(活動実績がある方のみ)	50.6%	1,540	36.0%	1,095	10.1%	308	3.2%	98	470
リーダーの活動について(活動実績がある方のみ)	55.1%	307	27.8%	155	8.3%	46	8.8%	49	2,954
ボランティアセンターでの交流プログラムについて(参加実績がある方のみ)	34.8%	357	45.2%	464	15.0%	154	5.1%	52	2,484

Q4 満足している理由の例

- 外国からの観光客の方々と楽しくコミュニケーションが取れたり、関西圏以外からの観光客の方々からの質問に対していろいろな提案ができ、感謝されたことに、大変嬉しく思い、やりがいを感じました。
- 一生に一度の貴重な体験をすることができました。ボランティア活動することで万博がもっと身近に感じ、より楽しむことができました。
- 参加したプログラムが海外の方とのコミュニケーションを取る際に気をつけたい文化の違いなど基本的な心構えを教えていただいたのが非常に役立った。
- 職場でうまくいかない状況でもありましたが、ボランティア活動することで、正社員時代の語学を活かせ、また、他のボランティアの人と協力して活動を行うなかで、前向きになれました。

- 会場ボランティアにはない、活動グッズを用意して下さったり、拠点を盛り上げるために、ミャクミャクの折り紙の折り方を教えて下さったり…そのことが、お客様に喜んでいただくこととなり、こちらとしても嬉しかったです。
- スタッフやボランティア仲間、関西の方々の温かくてフレンドリーな人柄に触れることができてとても楽しかった。
- 最初は緊張していて、何事もきちんとしなければと思っていたのですが、スタッフの方が皆さん親切で優しくて、心地よい空間が作られ、気負わず参加することができました。

Q5 満足していない理由の例

- 会後半は予約がいっぱいでシフトに入れず、もっと参加したかった。
- 万博の魅力を伝えられると思っていたのですが、実際は道案内が多かった。



Q6 大阪まちボランティア以外のボランティア活動への参加について、大阪まちボランティア活動参加前の状況を教えてください

項目	選択肢							
	積極的に参加してきた		時間やきっかけがあれば参加してきた		あまり参加してこなかった		参加してこなかった	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
活動参加前の意識	16.1%	564	32.9%	1,154	18.3%	642	32.8%	1,151

Q7 大阪まちボランティア以外のボランティア活動への参加について、大阪まちボランティア活動参加後(現在)の考えを教えてください

項目	選択肢							
	積極的に参加したい		時間やきっかけがあれば参加したい		あまり参加したいと思わない		参加したくない	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
活動参加後の意識	25.2%	885	55.7%	1,955	10.0%	352	9.1%	319

Q8 活動参加前の状況と参加後の考えが変化した理由例

- 人生初めてのボランティア活動を通じて、人付き合いが苦手な私にもたくさんの方々との出会いや交流を持てたことが嬉しかったから。
- ボランティア活動は人のためとばかり思っていたが自分のためにもなると、楽しさを味わえた。
- 普段接することがないタイプの方と交流をもてたり、仕事では味わえない体験や価値があるから。
- ボランティアを難しく思っていたが、自分のできる範囲で、楽しくボランティアできると考えが変わった。
- ニュースや街の出来事や取り組みへのアンテナの感度があがり、視野が広がったりして、楽しさが増しました。

Q9 活動参加前の状況と参加後の考えが変化しなかった理由例

- 時間的な余裕がないから。

Q10 大阪まちボランティアへの参加をきっかけに積極的に取り組むようになった、又は取り組みたいと思うようになったことはありますか？(複数回答可)

項目	割合	人数
様々なボランティアや地域活動に参加すること	60.5%	2,124
配慮の必要な方が困っている場合にお声がけすること	57.8%	2,031
外国の方が困っている場合にお声がけすること	47.2%	1,658
大阪・関西や地域の魅力について理解を深めること	39.4%	1,385

Q11 ボランティア活動に関して、興味のある分野を選択してください。(複数回答可)

項目	割合	人数
地域活性・まちづくり・観光	74.6%	2,619
多文化共生・国際協力	54.1%	1,901
文化・芸術	47.1%	1,652
子ども・教育	38.1%	1,336
災害救援・地域安全活動	30.6%	1,076

項目	割合	人数
環境・動物愛護	21.3%	747
医療・福祉・人権	26.1%	918
スポーツ	42.8%	1,503
その他	1.9%	68
特になし	1.7%	58

大阪まちボランティアに寄せて

世代を超えた交流が実現 この一つ一つの貴重なつながりを 万博のレガシーに

大阪公立大学
現代システム科学研究科 教授
ボランティア・市民活動センター
(V-station)センター長
大塚 耕司



まず、活動期間半年間(募集開始から数えると約1年10ヶ月間)、延べ活動人数約77,000人、案内件数約350,000件という、超大規模ボランティア活動の企画・運営・実施にあたられたスタッフの方々、ボランティアの方々により敬意を表します。本当にお疲れさまでした。

この大阪まちボランティアでは、できるだけ多くの人たちが気軽に参加できるようにとのコンセプトのもと、特別なスキルは求めず、好きな場所・時間を自分でエントリーする方式を取り入れ、また車椅子利用者への移動支援や聴覚障がい者に対する手話通訳者の派遣なども行われました。このようなさまざまな工夫の甲斐あってか、ボランティア参加者の年齢層は、10代と30代でやや低いものの、20代から70代以上までまんべんなく分布し、過去の万博やオリンピック・パラリンピックで見られた若年層が少ないという傾向と全く違った結果となりました。このことは、ボランティアメンバー間での世代を超えた交流につながったと思います。

今回の大阪まちボランティアのもう一つの大きなコンセプトは、活動をととして人と人のつながりを育むことでした。特にボランティアメンバー間の交流を重視し、ボランティアセンターには交流スペースが設けられました。万博会期前から会期中に渡り、多数の交流イベントが実施されたほか、ノートを通じて各拠点間での情報や想いが交換できるような工夫もされました。ボランティアへのアンケート調査で「新しく出会う人々と交流することができた」と答えた人が、参加時点で期待していたよりずっと多かったことが、その成果をよく表しています。私自身、ならば駅拠点、新大阪駅拠点、ボランティアセンターでの活動を見せてもらったときに一番印象に残ったことが、スタッフとボランティア、ボランティアメンバーどうしが、本当に楽しそうに和気あいあいと話し合い、活動に励んでいる姿でした。このつながりが今後も継承され、さらに新たなつながりへと発展していくことが、ボランティア文化という面での万博のレガシーになるものと期待しています。

大阪まちボランティアからの ひとことメッセージ



初めてのボランティアで不安でしたが、みなさん優しく、面白くて…。たくさんの方と交流できて楽しかったです!! 一生の思い出です。

たくさんの人と出あって、たくさん笑顔もらいましたよ♪ みなさんとまたどこかでお会いできますように。

ボランティア初めてでしたが、良いスタッフばかりで、楽しく活動をさせてもらいました。

世界各国の人々に出会えて、ワクワク、ドキドキでした♡

まちボラ本当に楽しいです。こんな素敵なチャンスを与えていただき感謝です!



ボランティアはする人もされる人も幸せ♡

ボランティアなら海外の人とも気軽に声掛けできるので良いですわ～。

今まであまり会話することがなかった年代の方々とお話することができたのは楽しかった。

関空で思いかけず、ミヤクミヤクとツーショットができました。

このような貴重な体験ができるのも運営スタッフみなさまのおかげです。いつも私たちを支えていただいております!

応募締切5分前に思い切って登録しました。あの日の思い切った私を褒めてあげたいです。笑

フランスの方やイタリアの方、アフリカから来られた方などなど…。いっぱい話しました。言葉の壁はアプリでクリア!? 人間同士は話せば分かる!

人生初めてのボランティアが、万博のボランティアであったことは本当に Lucky! でした。

70年万博の楽しかった話を聞いて、応募しました。たくさんのお会いがあって、とっても楽しかったです!

万博という大きいイベントでボランティアができて幸せです! いろいろな人たちと出会い刺激もいっぱい、これからもたくさんの方に挑戦していきたいです。

ボランティアに目覚めました。この様なチャンスを与えてありがとう。



ボランティアでの出会い。人生の種になりました。

ボランティアを通して学べたことは、自身のレガシーにかえて、未来に向けてさらに進化していきます!

まちボラとっても楽しい。万博が終わるの寂しい。みんなありがとう!!

若い人達の積極的なボランティア活動の話が聞いて元気をもらいました。

笑顔で活動すると、気持ちも晴れやかになります。そんな風に、楽しく活動できて幸せでした。

毎回涙が出るくらい最高の体験、経験をさせていただきました。「あなた達がいってくれて良かった!」「あなた達の笑顔に癒される」と言っていた事は一生忘れません!

思い切って参加したボランティア♡人生初めての経験をたくさんできました! 楽しかったです。ありがとうございました。



メッセージ